

## 令和5年度第4回浦安市子ども・子育て会議議事録

1. 開催日時 令和6年3月22日（金） 18時00分～19時15分
2. 開催場所 浦安市役所 庁舎4階S2、S3、S4会議室
3. 出席者

### 1) 委員

櫻井委員（会長）、梅本委員、小笠原委員、鈴木委員、吉澤委員、竹内委員、大島委員、大塚委員、大森委員、笠原委員、堀金委員

### 2) 事務局

【健康こども部】内田部長

【健康こども部こども課】鈴木課長、柿島課長補佐、熊川係長、水島、木戸口、藤平

【健康こども部保育幼稚園課】永田課長

【健康こども部青少年課】飯塚課長、藤原課長補佐

【健康こども部母子保健課】宇田川課長、手島課長補佐

【健康こども部こども家庭支援センター】伊藤所長、河口副主幹、菅谷副主幹

【健康こども部東野（高洲）児童センター】斎藤所長

### 4. 議事

- 1) (仮称) 第3期浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査について  
調査結果概要 資料1  
就学前児童保護者調査結果概要 資料2  
就学児保護者調査結果概要 資料3  
母子健康手帳交付者（初妊婦）調査結果概要 資料4
- 2) 令和6年度における子ども・子育てに関する主要事業について 資料5
- 3) その他

### 5. 会議経過

- 1) (仮称) 第3期浦安市子ども・子育て支援総合計画に関する基礎調査の結果概要について、事務局からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり

会 長： 調査結果の概要から見ると、就学前／就学後の回収率は62～63%程度でしたが、初妊婦調査については正月明けの時期で忙しかったことが影響しているのかと思われます。母数が少ないですが、回収率は44%程度とのことです。就学前と就学後は似たような傾向であると思います。これらの結果を参考に計画を策定することになります。

5年前の平成30年度調査と比較すると、働く率も変わってきています。男性の育休の取り方も変わっています。世の中の動きが結果に反映されているようにも見えます。また、今回はウェブ調査も併用いただければ回収率が上がるかもしれません。

委 員： 質問が2点と感想が1点あります。1点目として、この調査結果に関しての課題をどのように認識したのかをお聞きしたいです。2点目としては、資料2の15ページに記載されているように「子育てしやすいまち」に関する理由について、住・自然環境と子供の遊び場が評価されているようでしたが、資料2の7ページの不満の理由として、立地が悪いともありました。遊び場が多いと評価されている一方で、立地が悪いという不満の声も大きく矛盾を感じます。設備としての存在は知っているが、利用はしていないということもあるのでしょうか。

なお、感想として、資料4の8ページの情報入手先について行政の広報紙が低くなっていることが意外でした。利用率は就学前30%、就学後40%となっており居住歴が長いと伸びていますし、転入された方や妊婦の方にとって重要な情報源となると思いますので、周知を進めてはどうでしょうか。

事務局： 資料が概要であるため、全体が見えづらくなっており申し訳ありません。本調査の大きなポイントとしては、今後5年間の事業の利用意向を見ていくということがあります。調査結果を踏まえて課題は把握いたしますが、今後の庁内調査や庁内検討での結果も踏まえ、骨子案や施策の体系を提示する際に、合わせて示したいと考えています。

会長： ここに提示したものは単純な結果です。矛盾して見える部分もクロス集計や他の分析などで、詳細が見えてくる可能性があります。

施設は多いけど利用しづらいということも意見としてあるかと思います。

結果をどう読むかというのは難しいものですが、例えば、浦安市では移動の中心は何になりますか。

委員： 自家用車がある人は、保育園の送り迎え等では車が多い印象を持っています。子どもと遊びに行く人は自転車が多い気がします。

会長： コンパクトなまちなので、アクセスの悪さはあまり感じられないと思います。また、広報紙は大変便利ですが、初妊婦の方は広報紙を知らないという方も多いのかもしれないです。広報紙は全ての世帯に配布しているのでしょうか。

事務局： 広報紙の配布は新聞折り込みで実施しています。新聞購読をされていない方には郵送サービスも実施していますが、浸透していないのが現状だと思われるので周知が必要です。昔に比べて多様な入手手段があり、紙だけというわけにもいかないかもしれません。

会長： SNS等の様々な情報の入手手段があると思います。広報紙は新聞折り込みでの配布ということも知らない方が多いのだと思います。

委員： 新聞の購読数はどの程度なのでしょう。

事務局： 若い世代の方は少ないと思われます。情報の入手は紙でなくなってきていると認識しておりますが、紙媒体として便利な面があり発行を続けているので、引き続き周知を進めてまいります。

2) 令和6年度における子ども・子育てに関する主要事業について、事務局からの説明後、各委員からの意見・質問は次のとおり

会長： 今川地区保育園建設事業について、富岡の保育園を廃止して今川に作るとのことですが、完成時期はいつ頃になりますか。

事務局： 令和6～7年度で設計、令和9年10月に開園予定で進めています。

会長： 老朽化に伴う対応とのことですが、現在の富岡保育園は耐震対策はしていますか。

事務局： 安全性は確保しています。

会 長： 富岡の方は今川に行くことになるのですか。

事 務 局： 現在の富岡保育園は、駐車場がないですが、今度は駐車場を設置するので少し遠くの方も利用しやすく、当保育園の選択の余地があると思っています。

会 長： 「子ども医療費助成事業」は、本人医療負担分を助成すると理解している。これは、所得制限は関係せず一律支給ですか。

事 務 局： 「子ども医療費助成事業」全ての子どもが対象になります。「児童手当支給事業」について、高額所得者は対象外となっていますが、現在、国の方で、所得制限を撤廃し高校生も含めた全ての子どもに手当が届くように、法改正の審議がなされている状況です。

会 長： 「子ども医療費助成制度」は、浦安市の独自制度と理解していますが、歯科も対象なのでしょうか。

事 務 局： 「子ども医療費助成制度」は、歯科医療、調剤を含めた医療費について、自己負担分を助成するものです。

会 長： 児童扶養手当はひとり親家庭が対象ですが、児童手当との違いを教えてください。児童扶養手当はプラスアルファの支給という認識でよいですか。

事 務 局： 児童扶養手当を受給する方は、15歳までは児童手当と重複受給が可能となっています。児童手当については、所得制限があるものの原則、全ての子どもが対象になります。一方で、児童扶養手当は所得制限も厳しく、子どもを一人で育てている場合や、特別な事情がある方に対する福祉的要素が強い手当になります。

会 長： 「エンゼルヘルプサービス事業」は、あまり使っていないという基礎調査結果が出ていたように記憶していますがいかがでしょうか。産前産後と柔軟な使われ方をしている事業と説明があり、良い制度だと思います。

事 務 局： 資料2の9ページに、地域子育て支援事業の認知度・満足度の中で「エンゼルヘルプサービス事業」を記載しています。満足度では、7～8割の満足・やや満足という回答を得ている状況です。

会 長： 認知度を見ると、少し減っていますが、いかがでしょうか。

事 務 局： 認知度について、平成30年と令和5年の差をみると減少していますが、回答者の子どもの年齢の割合などの差がありますので、大きな差ではないと認識しています。

会 長： 里帰り分娩も減っていますし、祖母が世話してくれることを見込めない人も増えています。祖母自身が働いている人も多いので、社会全体で利用できるようなヘルパーがあるのは良いサービスだと思います。今回は、骨子も含めて提示される予定のため、次回も皆さまにご意見を頂戴したいと思っています。

### 3) その他

事務局： 本日の会議録としまして、事務局で作成した案を委員の皆様<sup>の</sup>に後日郵送でお送りし、内容のご確認をお願いすることになります。

委員の皆様<sup>の</sup>に確認をいただいた後、発言者のお名前を匿名化するなどの調整をしたうえで、会議録を公表いたします

また、次回の会議につきましては、令和6年7月頃を予定しております。

第2期計画の振り返りに関する事業実績調査や施策事業の選定、庁内の策定等検討会での検討をふまえ、計画の骨子案をお示しする予定です。

詳細が確定しましたらご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上です。

会長： 意見・ご質問なければこれにて会議は終了したいと思います。いかがでしょうか。

ご意見等ございませんので、本日の会議はこれにて終了いたします。委員の皆様ご出席いただき感謝申し上げます。